

件名：	『消防団大学』の開催について
担当課：	消防本部 警防課 消防団担当 (電話：083-932-2202)

1 趣旨

「消防団大学」とは、地域防災の指導的役割が求められる消防団員が、1年間に渡り、消防・防災に関する高度な専門知識や技術を学ぶとともに、消防団組織の現状を踏まえた課題の研究を行い、将来の消防団を牽引できる若手消防団員を育成する県内初の山口市独自の消防団員研修です。

受講対象者及び受講者数は、50歳以下の団員や女性団員、更には学生消防団員といたしまして、40名を募集します。

受講者は、5グループに分かれて、消防本部職員及び外部講師による専門知識や技術を学ぶ人材育成課程、そして、消防団の現状課題を整理し、活性化に向けた研究を行う研究課程に取り組んでいただき、最後に成果報告会において、団幹部や消防本部管理職などに対して研究成果を発表してもらいます。

なお、本事業は、連携中枢都市圏域の連携事業として関係市町の意向に応じて、これら市町の消防団員の受入を行います。

2 年間スケジュール

○人材育成課程			○研究課程			○成果報告会		
時間割	平成30年6月24日(日)	平成30年8月5日(日)	時間割	平成30年9月30日(日)	平成30年12月16日(日)	時間割	平成31年3月17日(日)	
8:30 ～ 9:00	受付	受付	8:30 ～ 9:00	受付	受付	8:30 ～ 9:00	受付	
9:00 ～ 10:30	●開校式 ●オリエンテーション ・消防団大学の概要と目的 ・研修スケジュールの説明 ・グループ編成・自己紹介 45分×2	<人材育成課程4> ●火災原因を知る ●防火指導の手法 45分×2	9:00 ～ 12:00	<研究課程2> ●ワークショップ研修 (講師による指導) NPO法人市民70ユース 理事長 平田隆之先生 理事 小柳明子先生 3時間	<研究課程4> ●ワークショップによる 課題研究 3時間	9:00 ～ 11:00	<研究課程6> ●成果報告会 2時間	
10:30 ～ 12:00	<人材育成課程1> ●地域防災って? ●消防団充実強化法 45分×2	<人材育成課程5> ●消防用設備を知る ●防火管理を学ぶ 45分×2	12:00 ～ 13:00	昼食	昼食	11:00 ～ 12:00	<修了式>	(12:00終了)
12:00 ～ 13:00	昼食	昼食	13:00 ～ 15:00	<研究課程3> ●ワークショップ研修 (講師による指導) NPO法人市民70ユース 理事長 平田隆之先生 理事 小柳明子先生 2時間	<研究課程5> ●ワークショップによる 課題研究 2時間			
13:00 ～ 14:30	<人材育成課程2> ●自分と仲間を守る! (安全管理) 45分×2	<人材育成課程6> ●プロの消火職を知る (実技) 45分×2						
14:30 ～ 16:00	<人材育成課程3> ●応急手当(通報要領含む) ●人命救助技術(実技) 45分×2	<研究課程1> ●消防団の課題と現状 (意見交換) 45分×2		(15:00終了)	(15:00終了)			
	(16:00終了)	(16:00終了)						

技を高める。共創する。

消防団大学

第1期

受講生募集

募集定員：40名
会場：南消防署

「消防団大学」は、1年間を通じた県内初となる山口市オリジナルの消防団研修です。
参加条件は、50歳以下の山口市消防団員で、5日間の全課程に出席できる方。

・・・私たちと一緒に楽しく学びながら、消防団の未来を考えてみませんか？

6/24
SUN

9:00～ 開講式・オリエンテーション
10:30～ 地域防災って？
13:00～ 自分と仲間の命を守る！
14:30～ 身に付けて欲しい応急手当&人命救助技術

8/5
SUN

9:00～ 火災原因を知ろう&防火指導はどうやる？
10:30～ 知って欲しい消防用設備&防火管理
13:00～ プロの消火戦術を学べ！
14:30～ 消防団の現状と課題を語ろう（意見交換）



人材育成課程講師
元 消防学校教官 梅月 大佑

ワークショップとは、
参加者が、グループ
の中で何かを学び
あったり創り出したり
する活動です！

9/30
SUN

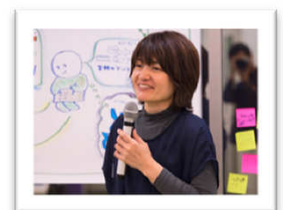
9:00～ 消防団の活性化に向けた研究開始
(終日) ～まずはワークショップの技法を学ぼう
・・・グループごとに課題研究・・・

12/16
SUN

9:00～ 消防団の活性化に向けた研究
(終日) ～中間報告会
・・・グループごとに課題研究・・・

H31/
3/17
SUN

9:00～ 集大成！成果報告会
11:00～ 閉講式



小柳 明子 先生



ワークショップ講師
NPO法人市民プロデュース理事長
平田 隆之 先生

【申込み・お問い合わせ先】 山口市消防本部 警防課消防団担当 TEL (083) 932-2202



「誇りを胸に」～山口市消防長からのメッセージ



山口市消防長 田中 功夫

東日本大震災をはじめ、台風や集中豪雨、竜巻、大雪・・・これまでの常識では考えられないような災害が連続的に発生している中で、消防団が地域住民の安全・安心の確保のために果たす役割はますます大きくなっています。
消防団員の皆さんは「地域密着性」「要員動員力」「即時対応力」に優れた、山口市にとって“将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在”です。その誇りを胸に、これからも市民の皆さんの期待に応えるべく、共に地域を守る消防職員と一緒に、消防・防災に関する高度な専門知識や技術を学びながら、将来の山口市消防団の姿を考えていく——それが「消防団大学」です。

講師を務める主なスペシャリストたち

人命救助技術

藤本純和



H10年入庁。H23年から3年間、消防救助の花形である「防災ヘリ」の隊員を勤め、帰任後も本市の特別救助隊員として救助業務に携わる。H29年には「消防大学校救助科」を優秀な成績で卒業し、消防大学校の補助教官も勤めた。現在は、消防本部救急救助課にて、民間と連携した重機による救出体制の構築を進めるなど、救助体制の高度化に力を注ぐ。

消火戦術

金子健二



H11年入庁。入庁からこれまで、特別救助隊のほか、ほぼ全ての消防署・出張所での勤務を経験。このキャリアを活かし、現在は消防本部警防課にて消火戦術の研究を進めている。中央消防署在籍時に立案した、消防車の到着から放水開始までを55秒で行う「TRY55」の技術や考え方は、消火戦術のベースとして現在も進化を続けている。

火災原因・防火指導

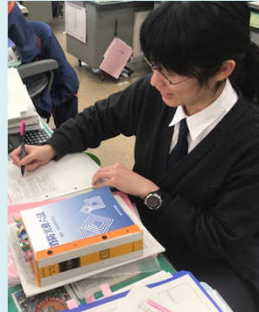
平川太助

H13年入庁。大学卒業後、自動車セールスを経て消防の道に進む。H22年から消防署で予防業務に携わり、H28年には「消防大学校火災調査科」を卒業。その専門知識を活かして数々の火災原因調査に関わりながら、同時に、安全・安心のセールスマンとして、各地区で火災予防の啓発を行っている。



消防用設備・防火管理

斉藤和泉



H20年入庁。大学での都市工学の専攻を活かし、消防本部予防課で女性初の消防用設備の指導担当として活躍している。女性らしい細やかな気配り、心配りにより予防課のムードメーカー的存在であるとともに、市民の安全を第一とした粘り強い設備指導により、上司、部下を問わず厚い信頼を得ている。

応急手当

星出静子



H10年入庁。県内初の女性消防士として市内外から注目を集める。総務、予防、現場活動など、様々なキャリアを重ねながら、H21年には、救急救命士の資格を取得。現在は、救急隊長として、多くの部下を指導しながら、的確な判断と男性隊員にはない心遣いにより、救急活動の第一線で活躍している。

消防団充実強化法

徳永和俊



H19年入庁。地元山口大学卒業後、市消防本部に入庁。現在は、消防団担当として、これまで33年間を過ごした愛する山口市を守るために奮闘中。H28年度から開始した「学生消防団」の活動では、学生の良き相談役として兄貴的な役割を果たしている。また、消防出初式や消防イベントにおいても、運営の中心として活躍している。

◎申込み・お問い合わせ先

山口市消防本部 警防課消防団担当

Tel (083) 932-2202

